

(様式4)

令和4年度中国・四国ブロック事業活動報告

1. 活動目的

全国保健師長会の活動を共有するとともに、コロナ禍においても保健師人材育成の取組を推進する。

2. 活動計画

回	時 期	場 所	内 容
	令和4年5月～6月	メール	【支部長会議・ブロック研修会準備】 5月 各支部長からの意見集約 6月 講師決定、依頼
1	令和4年 7月31日(日)	WEB開催	【第1回ブロック理事・支部長会議】 ・全国保健師長会理事会等の報告 ・年間計画、ブロック研修検討 ・各支部活動状況等情報交換
2	令和4年 11月5日(土)	島根県出雲市民会館 ハイブリット開催 (YouTube配信 ～12月5日まで)	【ブロック研修会】 ・全国保健師長会活動報告 ・講演「コロナ禍の中での人材育成～新任 期に地域を診る視点をどう育てるか～」 講師：大阪市 健康局健康推進部保健主 幹 松本珠実 先生
	令和5年1月	メール	【ブロック研修会アンケート集約】 ・YouTube配信後 アンケート結果を共有
3	令和5年1～3月	WEB開催	【第2回ブロック理事・支部長会議】 ・各支部活動報告 ・次年度の事業計画 ・情報交換

4. 結果・課題

支部長会は、昨年と同様にWEBで開催した。手軽に参加でき、各支部活動の取組を共有できたという評価の一方で、対面にくらべると交流しづらいという意見もあった。今後の開催方法については、効率性だけでなく、支部活動の中心的役割を担う各支部長が、より活力が得られる開催方法を検討していく必要がある。

研修会は、ハイブリット形式で開催した。開催後1か月間YouTube配信をしたことで、多くの会員が参加することができた。研修会での全国保健師長会活動報告は、会長から直接お話いただき、活動をより身近に感じることができた。研修会テーマも講師も好評で、研修終了後のアンケートではたくさんの意見や感想が得られた。統括保健師としての広い視野と先見性もちエネルギーに活躍される講師の姿は、多くの会員にとり良い刺激となった。

今後もハイブリット形式での研修会が期待される中、運営側に配信環境や技術などの新たな負担が生じ、機材確保や技術取得が課題である。

5. 支部活動の特徴

9県1市の10支部で構成され、各支部で研修会や現任教育の推進などに取り組んでいる。今年度もコロナ禍にあり、研修会や交流会の中止やWEBや書面を活用しての活動が多かったが、対面で実施した支部もあった。各支部の意見集約には、メールなどによる書面で実施することが多かったが、多忙な中においても迅速な返信等の協力があり、円滑に活動を行うことができた。

6. 委員・支部長		氏名	所属
○理事	吾郷	寿子	松江市・島根県共同設置松江保健所 医事・難病支援課
理事	白石	由起	愛媛県心と体の健康センター
鳥取県	角田	智玲	鳥取県福祉保健部健康医療局 医療政策課人材確保室
島根県	前田	万智子	安来市健康福祉部 いきいき健康課
岡山県	孝忠	トシ	岡山県保健福祉部保健福祉課 地域福祉班
広島県	山口	恵	広島県立総合精神保健福祉センター
山口県	荒瀬	敦子	山口市健康福祉部 高齢福祉課
徳島県	山崎	みゆき	徳島県南部総合県民保健福祉環境部〈美波〉
香川県	上田	訪代	高松市長寿福祉部 地域包括支援センター
愛媛県	倉田	朋子	愛媛県中予保健所 健康増進課
高知県	岡田	富美	高知県幡多福祉保健所 地域支援室
広島市	草野	富美子	広島市東区厚生部

責任者○印